

富山県立中央病院のキャリア形成プログラム (例)

【注意事項】各診療科共通

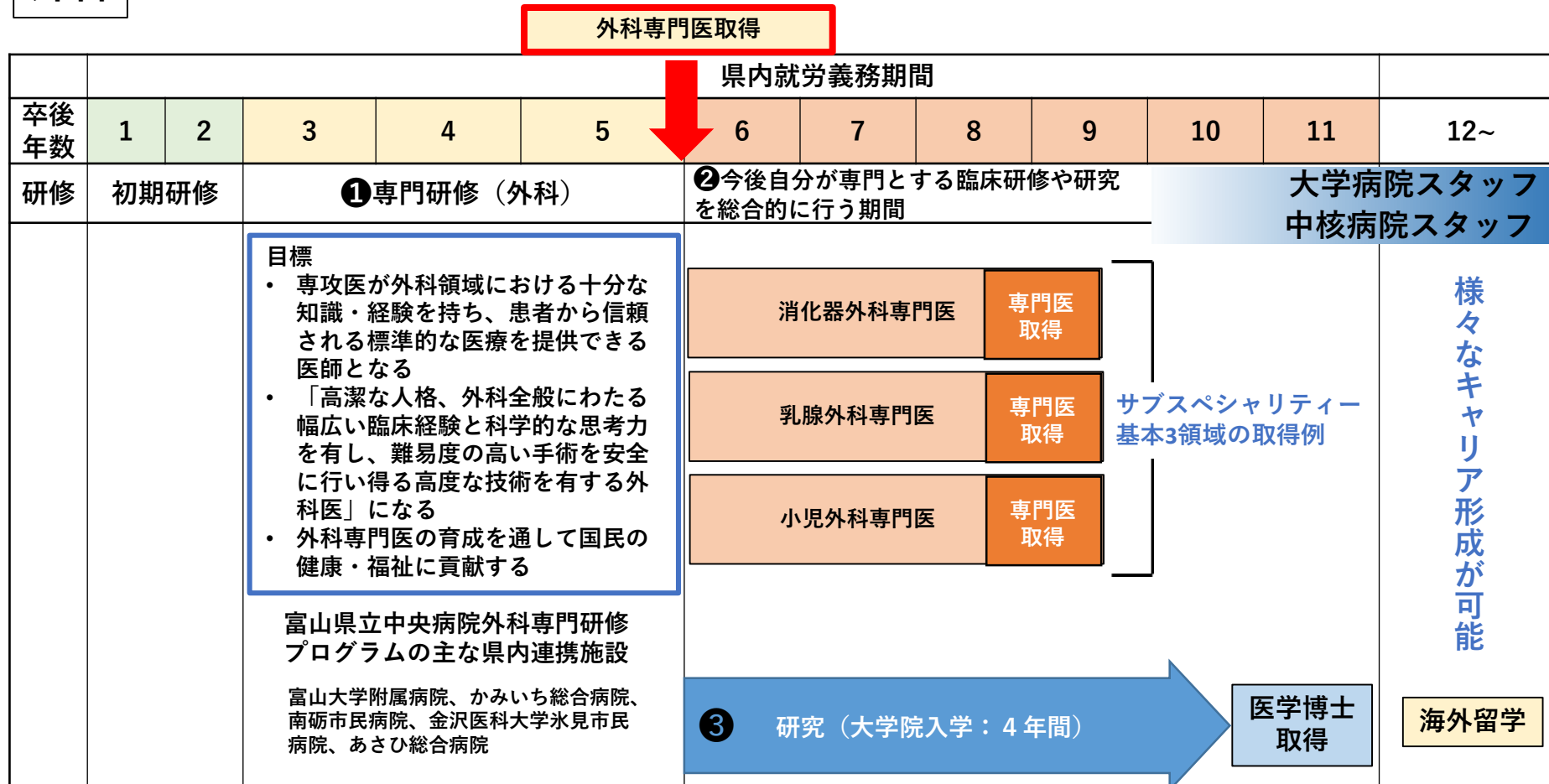
- ・ 県外施設での診療や研修期間は義務年限に算入されません。
- ・ 大学院に入学の場合、診療従事の状態により義務年限に算入するかどうかを決定します。

		県内就労義務期間																																	
卒後年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12～																							
研修	初期研修	① 小児科専攻医研修					② 将来の目標に向かった臨床研修や研究を総合的に行う																												
		<p>到達目標：「子どもの総合診療医」「育児・健康支援者」「子どもの代弁者」「学識・研究者」「医療のプロフェッショナル」の5つの資質を備えた小児科専門医</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">富山県立中央病院プログラム（主なコース）</th> </tr> <tr> <td>富山県立中央病院</td> <td>関連病院A</td> <td colspan="2">関連病院B</td> </tr> <tr> <td>関連病院A</td> <td>富山県立中央病院</td> <td colspan="2">関連病院B</td> </tr> <tr> <td>関連病院A</td> <td>関連病院B</td> <td colspan="2">富山県立中央病院</td> </tr> <tr> <td>富山県立中央病院</td> <td>関連病院A</td> <td>関連病院B</td> <td>連携病院</td> </tr> </table>					富山県立中央病院プログラム（主なコース）				富山県立中央病院	関連病院A	関連病院B		関連病院A	富山県立中央病院	関連病院B		関連病院A	関連病院B	富山県立中央病院		富山県立中央病院	関連病院A	関連病院B	連携病院	<p>総合的な研修</p> <p>サブスペシャリティ研修</p>						<p>大学病院 中核病院 スタッフへ</p>		
富山県立中央病院プログラム（主なコース）																																			
富山県立中央病院	関連病院A	関連病院B																																	
関連病院A	富山県立中央病院	関連病院B																																	
関連病院A	関連病院B	富山県立中央病院																																	
富山県立中央病院	関連病院A	関連病院B	連携病院																																
							<p>アレルギー専門医（小児科） 小児血液・がん専門医 小児循環器専門医 小児神経専門医 周産期専門医（小児科）など (それぞれ3～5年間)</p>						<p>各分野専門医</p> <p>さまざまなキャリア形成が可能</p>																						
							<p>③ 研究（大学院：4年間）</p>						<p>医学博士取得</p> <p>海外留学</p>																						

- ① 3～5年目：富山県立中央病院の小児科専攻医研修医プログラムに入り、県内の病院群で研修
- ② 6～9年目：附属病院や関連施設でサブスペシャリティの研修ならびに取得が可能
- ③ 大学院に入学して博士号の取得も可能（医師のキャリア形成には重要）

関連病院（A）：富山大学附属病院
 関連病院（B）：富山市民病院、黒部市民病院など
 連携病院：富山県リハビリテーション病院など（希望により）

< 返還免除時期の延長 >
 研究が主体の期間、県外や国外での研修期間、など



①3～5年目は富山県立中央病院の外科専門研修プログラムに入り、県内の病院群で研修

連携施設は富山大学附属病院、かみいち総合病院、南砺市民病院、金沢医科大学氷見市民病院、あさひ総合病院。連携施設で最低6カ月以上の研修を行う。

②6～9年目までの期間は、富山県立中央病院や関連施設でサブスペシャリティー専門研修

消化器外科専門医、乳腺外科専門医、小児外科専門医の取得が可能。内視鏡外科技術認定医、肝胆膵外科高度技能専門医、食道外科専門医等の高度なキャリア形成を目指した研修も可能。

③大学院に入学し博士号の取得も可能（医師のキャリア形成には研究も重要）

研究のための国内留学も可能、県外施設での期間は返還免除時期が延期。海外留学は主に医学博士取得後。

（県外施設での期間は返還免除時期が延期）

産科婦人科専門医取得

		県内就労義務期間												
卒後年数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12~	
研修	初期研修	① 専門研修（産婦人科）					② 今後自分が専門とする臨床研修や研究を総合的に行う期間					大学病院スタッフ 中核病院スタッフ		
	民間病院・診療所等 なかしま産婦人科 小嶋ウイメンズクリニックと連携	目標 ・妊娠分娩管理、新生児管理 ・良悪性腫瘍の診療 ・生殖医療 ができるようになる					周産期専門医		専門医取得	サブスペシャリティー 基本4領域の最短取得例	様々なキャリア形成が可能			
		主な研修コース 富山県立中央病院プログラム（例）					婦人科腫瘍専門医		専門医取得					
		富山県中	富山県中	関連病院A		女性医学専門医		専門医取得						
		関連病院B	富山県中	関連病院C		生殖医療専門医		専門医取得						
		関連病院A	関連病院B	富山県中		内視鏡技術認定医		認定医取得						
		富山県中	関連病院A	関連病院B	関連病院D	③ 研究（大学院入学：4年間）						医学博士取得	海外留学	

① 3～5年目は富山県立中央病院の産婦人科専門研修プログラムに入り、県内の病院群で研修

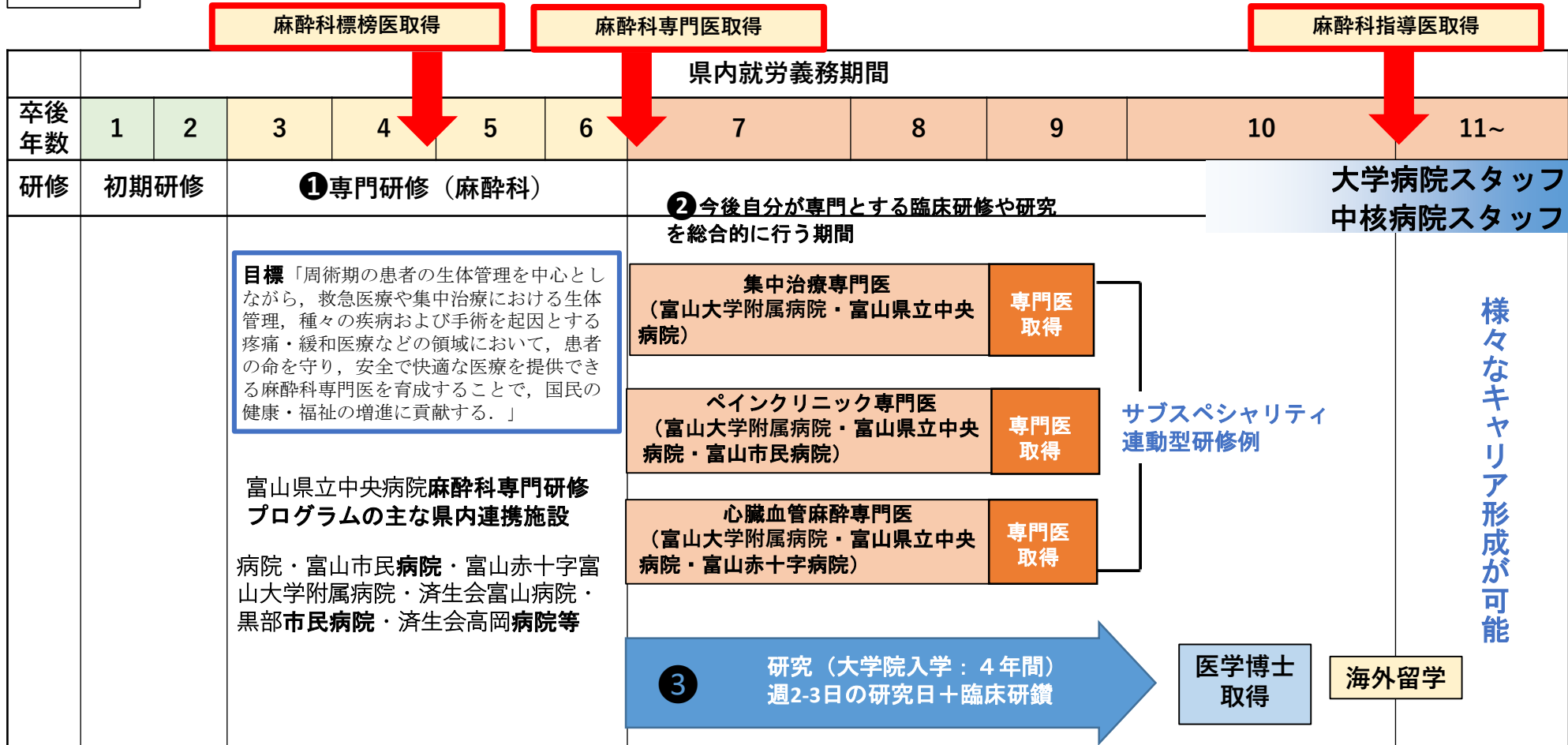
高岡市民病院、厚生連高岡病院、済生会高岡病院、市立砺波総合病院 富山市民病院、富山赤十字病院、かみいち総合病院、黒部市民病院、富山大学附属病院

② 6～9年目までの期間は、各自が希望する医療機関でサブスペシャリティー専門研修をして、周産期専門医、婦人科腫瘍専門医、内視鏡技術認定医、女性医学専門医、生殖医療専門医の取得が可能。県外施設での期間は返還免除時期が延期。

③ 大学院に入学し博士号の取得も可能（医師のキャリア形成には研究も重要）

- ・大学院入学後、診療業務している年限は義務年限にカウント可能だが、研究が主の期間は返還免除時期が延期
- ・研究のための国内留学も可能、県外施設での期間は返還免除時期が延期。海外留学は主に医学博士取得後。

麻酔科 キャリア形成プログラム（富山県立中央病院）



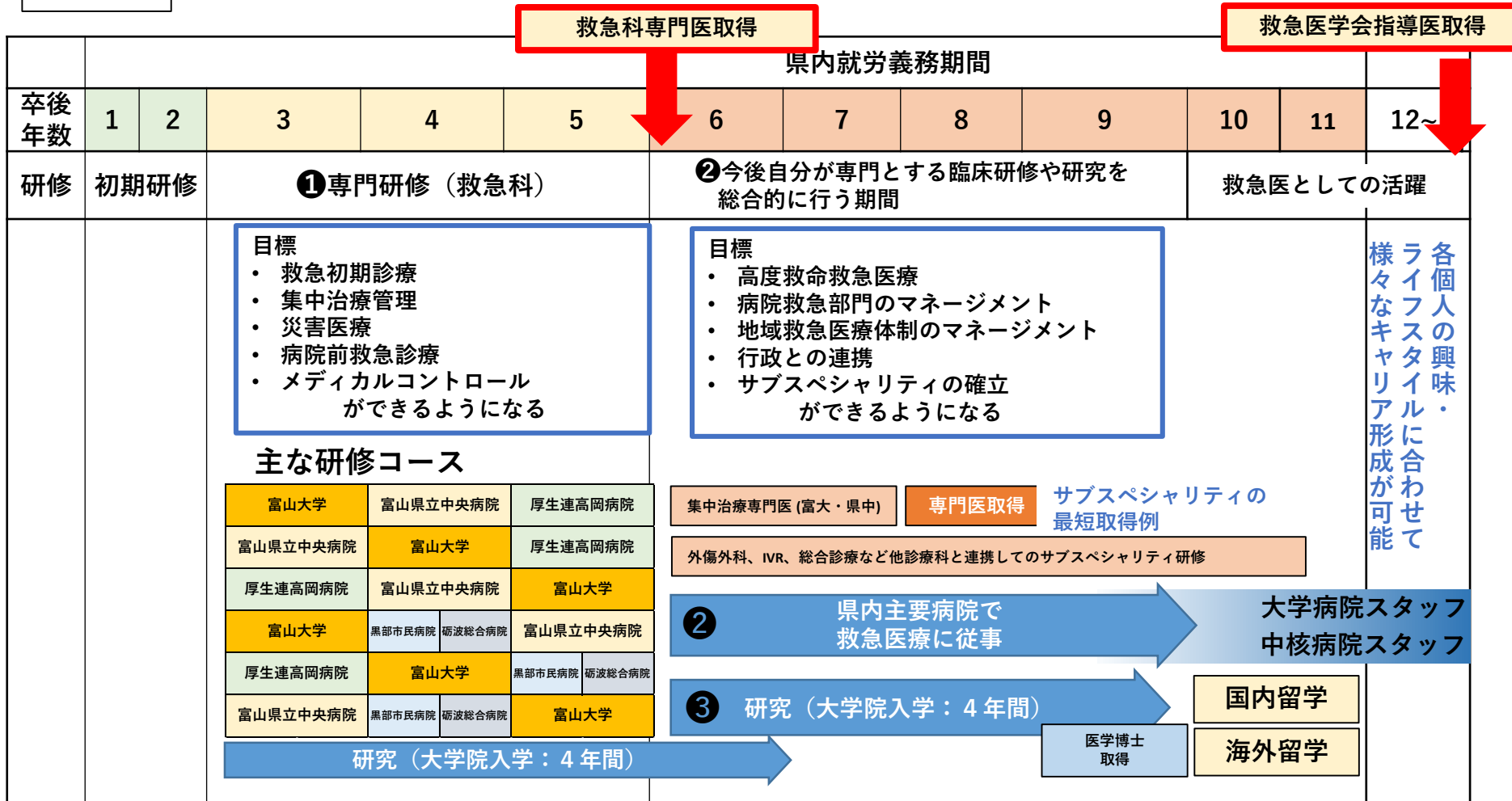
① 3～6年目は富山県立中央病院の麻酔科専門研修プログラムに入り、県内の病院群で研修。

富山大学附属病院、富山市民病院、富山赤十字病院、済生会富山病院、黒部市民病院、済生会高岡病院等

② 7～10年目までの期間は、富山県立中央病院や関連施設でサブスペシャリティ専門研修が可能。麻酔科指導医を取得。県外施設での期間は返還免除時期が延期。

③ 大学院に入学し博士号の取得も可能（医師のキャリア形成には研究も重要）。

- ・ 大学院入学後、診療業務している年限は義務年限にカウント可能だが、研究が主の期間は返還免除時期が延期。
- ・ 研究のための国内留学も可能、県外施設での期間は返還免除時期が延期。海外留学は主に医学博士取得後。

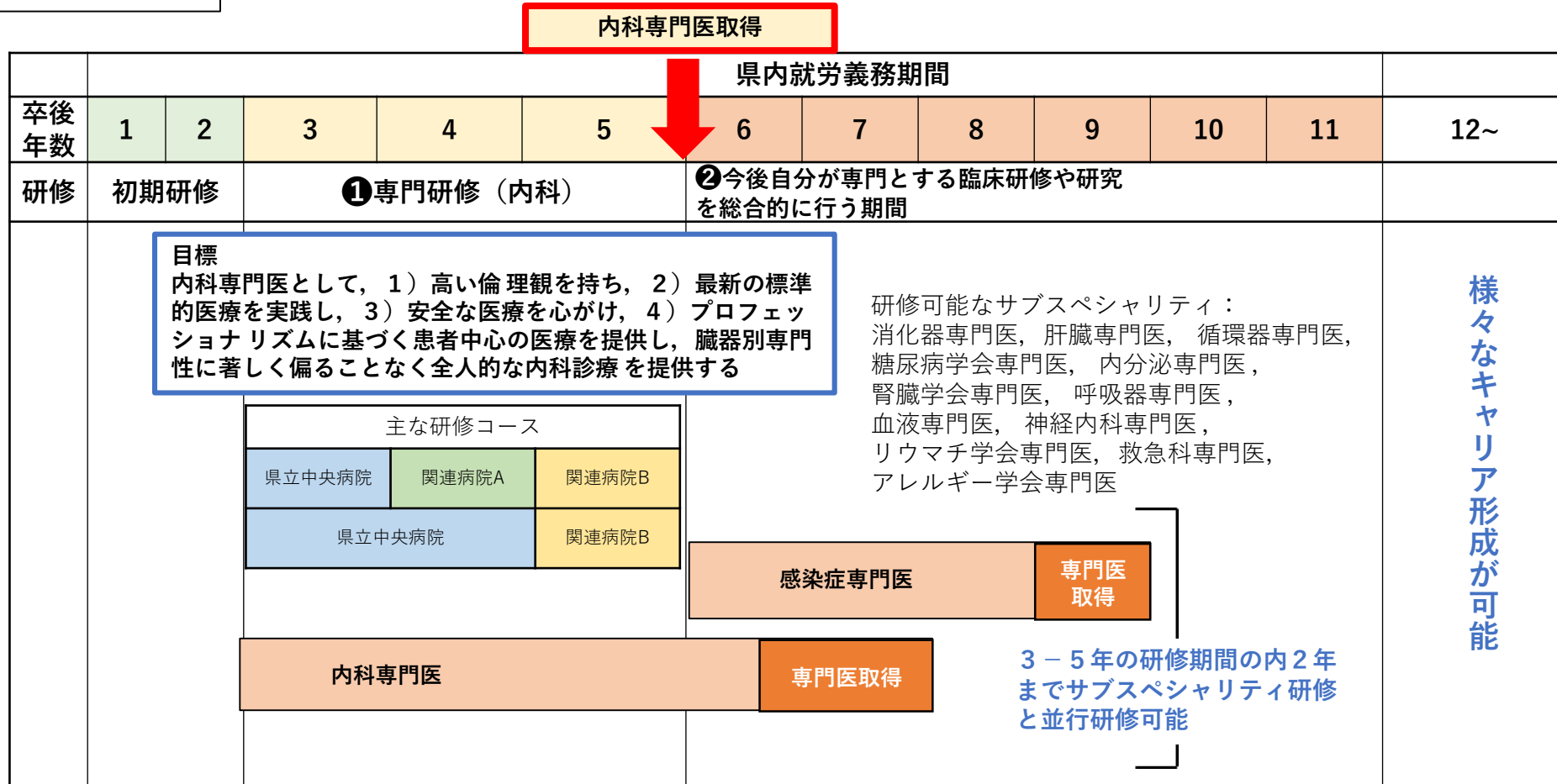


① 3～5年目は富山県立中央病院救急科専門医養成プログラムに入り、県内の病院群で研修

② 6～9年目までの期間は、富山県立中央病院や関連施設でサブスペシャリティ専門研修をして、集中治療専門医の取得が可能。希望により県内・外の施設で他領域の研修も可能だが、その期間は返還免除時期が延期。

③ 大学院に入学し博士号の取得も可能（医師のキャリア形成には研究も重要）

- ・ 3年目専門研修開始と同時の大学院（社会人）入学も可
- ・ 大学院入学後、診療業務している年限は義務年限にカウント可能だが、研究が主の期間は返還免除時期が延期
- ・ 研究のための国内留学も可能、県外施設での期間は返還免除時期が延期。海外留学は主に医学博士取得後。



① 3～5年目は病院の内科専門研修プログラムに入り、県内の病院群で研修

連携施設は黒部市民病院、市立富山市民病院、厚生連高岡病院、市立砺波総合病院、高岡市民病院、厚生連滑川病院、上市総合病院、富山大学附属病院。連携施設で最低1年以上の研修を行う。

② 感染症専門医取得後、当病院でもサブスペシャリティ研修可能

当院は内科系のほぼ全てのサブスペシャリティの研修が可能です。（県外施設での期間は返還免除時期が延期されます）